

■その他の案件

議案番号等	議案名	【 】内は議案の補足説明です。
報告1	専決処分の報告について (貸室利用中の事故の和解及び損害賠償の額の決定)	【市民交流センターの貸室での事故】
報告2	専決処分の報告について (半田市市有土地の倒木に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)	【板山町1丁目地内市有地での事故】
報告3	専決処分の報告について (除草作業中の傷害事故の和解及び損害賠償の額の決定)	
報告4	専決処分の報告について (公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)	
報告5	専決処分の報告について (工事請負契約の変更)	
報告6	地方独立行政法人知多半島総合医療機構の経営状況について	
承認1	専決処分の承認について(令和7年度半田市一般会計補正予算第7号) 【衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を2月8日に執行するための予算】	

反対討論

議案第10、16、18、19、20、26、27、28、31、33、34号に反対

有留麻由議員

議案第10号令和8年度半田市一般会計予算を含む10議案には反対です。一般会計予算では道の駅や石塚地区工業団地の企業立地、大型開発が進められますが、一方、国保税や水道料金、施設使用料等は値上げとなり市民の暮らしを冷やします。加えて、亀崎児童センターの廃止などの条例改正は市民の声に寄り添っておらず反対です。

請願1に係る討論
趣旨採択について

有留麻由議員、中村和也議員、伊藤正興議員からは、この請願を趣旨採択にすべきでないとの討論が、一方、山田清議員、榎原瑞輝議員、竹内功治議員、鈴木幸彦議員からは、趣旨採択とすべきとの討論がありました。各議員の討論の内容については、後日、公開される会議録をご覧ください。



会議録へ

文教厚生委員会
活動報告
(要旨)

調査テーマ

「読み書きの困難を抱える子どもたちの支援について」

近年、ディスレクシアなどの学習障がいへの関心が高まり、保護者や教職員の間で不安が広がっています。

一方で、これらの困難は外見や学習態度から判断しにくく、努力不足と誤解されやすいため、適切な支援につながりにくいという課題があります。しかし、適切な支援により学びの可能性は十分に伸ばすことができます。半田市においても一定数の児童生徒の存在が想定されており、早期発見は極めて重要です。更に、支援の遅れは学習意欲の低下や不登校などの二次的課題につながる懸念があります。

こうした課題を踏まえ、先進団体や自治体の取組みを調査し、本委員会では、以下の提言を行いました。

一、読み書きに困難を抱える児童を早期に見出すため、年長児や小学校低学年の段階からスクリーニングを実施すること。
一、学校ごとの対応差が生じないように、合理的配慮の基準や活用例を整理した統一的なガイドラインを作成すること。
一、発達性ディスレクシアをはじめと

する学習困難への理解を深めるため、教員研修を継続的に実施し、専門的指導方法を学ぶ機会を保障すること。
一、読み上げ機能や音声入力などのICTを、特別な支援ではなく学びの基礎ツールとして位置づけ、学習上の負担を軽減し意欲向上につなげる環境を整備すること。

一、地域社会における理解不足を解消するため、発達性ディスレクシアに関する啓発を継続的にを行い、本人や家族が孤立しない環境づくりを推進すること。

一、教育機関・医療機関・家庭が情報共有しやすい仕組みを整備し、併存する特性も含めた総合的な支援につなげること。

一、医療的助言を受けられる体制をさらに充実させ、保護者が必要な支援に早期にアクセスできる環境を整えること。

これらの取組みにより、すべての子どもが安心して学べる環境整備が一層推進されるよう強く要望しました。

